

ベナン月報(2016年5月)

主な出来事

【内政】

- 6日, ジョベヌ法務大臣を委員長とする政治・制度改革委員会の設立式が催され, タロン大統領が出席した。同委員会は35名の委員で構成される。
- 16日, 国内の治安が悪化していることを受けて, 政府は治安強化オペレーション「マンバ」の実施を発表した。

【外政】

- 2日～4日, ヴァリニ仏外務・国際開発大臣付開発・フランコフォニー担当副大臣がベナンを訪問, 仏が支援を行った案件サイトを視察すると共に, タロン大統領を始め諸閣僚と会談を行った。
- 14日, アブジャでボコハラム対策等地域安全保障に関するサミットが開催され, ベナンからはタロン大統領が出席した。

【経済】

- 英アーンスト・アンド・ヤング社が発表した「投資先として魅力的なアフリカの国ランキング」でベナンは19位にランクインした。

※下記内容は, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L'Événement Précis 紙, La Nouvelle Tribune 紙および, Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ 6日, ジョベヌ(M. Joseph DJOGBENOU)法務大臣を委員長とする政治・制度改革委員会の設立式が催され, タロン大統領が出席した。同委員会は35名の委員で構成される。(9日, La Nation 紙)
- ・ 6日, 最高裁による昨年7月のジユグ市長選挙無効の判決を受け, ジユグ市議会で再選挙が行われ, FCBEのアラサヌ(M. Zoumarou Alassane)議員が新市長に選出された。(9日, La Nation 紙)
- ・ 12日, 国民議会の法律・行政・人権委員会の委員長にアベレスシ(M. Alexis AGBELESSESSI)議員が選出された。(13日, Le Matinal 紙)
- ・ 国家統計局(INSAE)の最新の統計によると, ベナン国民の27.7%がイスラム教を信仰している。カトリックは25.5%, ブードゥー教は11.6%である。イスラム教の信者は北部ほど多く, アリボリ県では81.3%に上るが, 南部のクッフオ県では0.9%となっている。(15日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 17日, アビンボラ(M. Jean Michel ABIMBOLA)元文化・識字・手工業・観光大臣やバコ・アリファリ(M. Nassirou BAKO-ARIFARI)元外相を始めとした国民議会議員11名によって国民議会内の新政治集団「Bénin uni et solidaire」が設立された。議長はアケ(M. Natondé AKE)元運輸大臣が務める。(18日, La Nation 紙)

- ・ 18日の閣議で、ヤイ前大統領が退任直前に購入を決定した新大統領専用機の購入中止が決定された。機体は既に販売元の南アフリカ企業の元へ送り返された模様。(19日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 23日カサ, (M.Barthélémy Dahoga KASSA)元エネルギー・石油鉱山探査・水利・再生可能エネルギー開発大臣が国民議会内の新政治集団「République et Solidarité Nationale」を設立した。(24日, La Nation 紙)
- ・ 23日, アザリア(Mme.Naomi AZARIA)がコトヌ自治港代表を解任され, 暫定代表としてアムス氏(Mme.Huguette Amélie AMOUSOU)就任した。(24日, Le Matinal 紙)
- ・ 23日, 生活環境・持続的開発省(元環境省)の管理下にある国家動物保護管理センター(Cenagref), 国家木材事務所(Onab)及び国家森林・自然資源総局(Dgfrn)の長官の解任が決定された。(25日, Le Matinal 紙)
- ・ 25日, 閣議で経済・財務省, 法務省, 労働省, 運輸省, エネルギー・水利・鉱山省の事務次官などを含めた24の重要ポストの新人事が決定された。(27日, Le Matinal 紙)
- ・ 25日, 新たな警察局長官にムカイラ(M.Idrissou MOUKAIRA)総監察官が, 憲兵隊長にダンス(Lieutenant-Colonel Antoine DANSOU)中佐が任命された。(27日, Le Matinal 紙)
- ・ 26日, コトヌ市国際会議場で宗教間対話イニシアティブのワークショップが開催され, ラフィア(M.Sacca LAFIA)内務大臣, テヴォエジレ(M.Albert TEVOEDJIRE)教授, 塚原駐ベナン日本大使などが出席した。(27日, Le Matinal 紙)
- ・ コトヌ市カジェウン国際空港で22:45~4:00に行われていた空港整備工の影響で, 5月中にエールフランス機が2回の離陸拒否, モロッコ航空機が2回の着陸拒否を受けた。(24日, Le Matin Libre 紙)

【治安】

- ・ 2日~3日, バンテ市のバンテ第一中学校で, バカロレアのための補習開講のために学校関係者が国民議会議員から20万FCFAを受け取ったにもかかわらず補習を開講しないとして, 保護者や生徒が校長や視学官の家や車を破壊, 放火するなどして抗議した。抗議は治安部隊によって鎮圧されたが, 保護者1名が治安部隊の銃弾によって死亡, 8名が重軽傷を負った。(4日, La Nation 紙)
- ・ 7日深夜, コトヌ市アツパツパ地区の建築資機材店 La Roche で盗難が発生, およそ3億FCFAが持ち去られた。(11日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 11日, コトヌ市ゲゾ陸軍駐屯地近くで, 西アフリカ中央銀行の現金を運ぶ 3S Sécurité 社の現金輸送車に積んであった12億FCFAが, 同車両に乗っていた警備員等によって奪われた。(12日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 11日, コトヌ市でセンザンコウの鱗70kgを所持していたベナン人1名とギニア人2名が逮捕された。(12日, Le Matinal 紙)
- ・ 11日夜, クルエカメ市のカトリック教会にナタなどで武装した強盗が侵入, 教会の物品を破

壊、持ち去るなどした。犯人は逃走中。(13日, Le Matinal 紙)

- ・ 13日, ジュグ市の国道でタンギエタ市に向かっていた元税関職員の車が武装強盗に襲撃され, 同職員は頭に銃弾を受けて死亡, 車に乗っていた現金が奪われた。(17日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 17日, ボイコン市で警察によるバックミラー未整備の二輪車の取り締まりを発端とし, バイクタクシー運転手による抗議のデモが発生, 投石やタイヤを燃やし道路を封鎖するなどして警官隊と衝突した。(18日, La Nation 紙)
- ・ 17日, アジョウン市の憲兵隊キャンプ近くの検問が発端となり, 民衆による抗議のデモが発生, 投石やタイヤを燃やし道路を封鎖するなどして憲兵隊と衝突した。(18日, La Nation 紙)
- ・ バニコアラ市で臓器売買を目的としていると思われる殺人事件が複数発生しており, 憲兵隊が犯人の捜索を進めている。(20日, La Nation 紙)
- ・ 16日, 国内の治安が悪化していることを受けて, 政府は治安強化オペレーション「マンバ」の実施を発表した。(20日, La Nation 紙)
- ・ 17日深夜, コトヌ警察はゴドメイ地区付近の犯罪グループ潜伏先に突入捜査を実施, 銃撃戦となり, 犯罪グループの3名を射殺, その他のメンバーを逮捕し, 二輪車や武器を押収した。これらの犯罪グループはコトヌ市ミセボ地区やダントツパ市場で活動を行っており, 警察は今後も掃討作戦を継続する方針。(19日, Le Matinal 紙)
- ・ 24日, マランヴィル市で地元農家とプル族の遊牧民が衝突, 3名が死亡, 2名が重傷を負った。争いは警官隊及び憲兵隊の介入によって鎮圧された。(25日, La Nation 紙)
- ・ 25日, コトヌ市ミセボ地区の商店に武装強盗が入り, 数百万FCFAが持ち去られ, 1名が死亡し, 3名が重軽傷を負った。警察が駆けつけたが, 犯人は逃走した。また, 同日, ゾボドメイ市においても同様の事件が発生, 3名が死亡した。(26日, La Nation 紙)
- ・ 25日19:30頃, ゾボドメイ市の国道でニジェルからの長距離バス2台が武装強盗にあい, 乗客と乗員合わせて3名が死亡した。(6月1日, Le Matinal 紙)
- ・ 27日, ケル市で巡回中の森林警備隊が強盗に襲撃され, 銃撃戦となった。森林警備隊の1名が頭に銃弾を受け死亡, 車とバイクが持ち去られた。(30日, Le Matinal 紙)
- ・ 30日, コトヌ市サン・ミシェル地区の商店に武装強盗が入り, 70万FCFAが持ち去られた。最近同様の事件が頻発しており, 同じ犯人グループの犯行とみられる。(31日, Le Matinal 紙)

【外政】

- ・ 2日~4日, ヴァリニ(M.André VALINI) 仏外務・国際開発大臣付開発・フランコフォニー担当副大臣がベナンを訪問, 仏が支援を行った案件サイトを視察すると共に, タロン大統領を始め諸閣僚と会談を行った。(4日, La Nation 紙)
- ・ 6日, 日本の支援によって実施された「たけし日本語学校増築計画」の引渡式が行われ, 塚原駐ベナン日本大使及びゾマホン駐日本ベナン大使が出席した。(9日, La Nation 紙)

- ・ 10日, ガーナ, ブラジル, ベルギー3か国の新大使がタロン大統領に信任状の捧呈を行った。(11日, La Nation 紙)
- ・ 14日, アブジャでボコハラム対策等地域安全保障に関するサミットが開催され, オランド仏大統領及び周辺国の首脳が出席, 今後より一層軍事的, 経済的な協力を推進していくことで合意した。ベナンからはタロン大統領が出席した。(17日, Le Matinal 紙)
- ・ 30日, パラク市で草の根無償資金協力案件「ダッパラルー幼稚園及びドマルー小学校建設計画」の引渡式が行われ, 塚原駐ベナン日本大使が出席した。(5月1日, La Nation 紙)

【経済】

- ・ 18日, 中古車販売業者が商工会議所で会合を開き, ナイジェリアナイラの下落や国内における不透明な各種支払い等により, 販売不振に直面している問題について議論した。(19日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 4月13日の閣議で決定された森林資源利用の一時禁止の影響で, 木炭の価格が高騰している。この状況を受け, 5月13日に政府は同禁止令を緩和したが, 木炭価格は依然として高いままである。(20日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 英アーンスト・アンド・ヤング社が発表した「投資先として魅力的なアフリカの国ランキング」でベナンは19位にランクインした。(20日, La Nation 紙)
- ・ 4月のベナン政府の税収は前年同月比6.6%減の645.6億FCFAだった。(26日, L' Economiste 紙)